

東根市全体の結果及びに学校別の結果についての公表は、次のようにする。

- (1) 学力調査の結果は、全国及び山形県、東根市の平均正答率を公表する。
- (2) 学力調査の結果について、学校別の平均正答率は、競争をあまり調査本来の目的から離れ、学校の序列化に繋がりがねないことから公表しない。
- (3) 各小・中学校は、公表された結果を各学校の指導法の見直し等に活かし、個人の学習状況の改善に役立てる。

1 学力調査の結果

小学校 平均正答率 (%)

| 小6 | 国語 | 算数 |
|-----|------|------|
| 東根市 | 68 | 62 |
| 山形県 | 66 | 59 |
| 全国 | 67.7 | 63.4 |

中学校 平均正答率 (%)

| 中3 | 国語 | 数学 |
|-----|------|------|
| 東根市 | 55 | 48 |
| 山形県 | 58 | 51 |
| 全国 | 58.1 | 52.5 |

2 学習状況調査の結果から (※特徴的な質問事項)

(1) 授業や学習等に関すること

小学校

| 質問事項 | 市 | 県 | 全国 |
|--|------|------|------|
| ① 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている。 | 88 | 83.2 | 83.2 |
| ② 算数の問題の解き方が分からないときには、あきらめずいろいろな方法を考えている。 | 87.7 | 83.2 | 83.3 |
| ③ 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。 | 70.5 | 68.1 | 67.6 |

中学校

| 質問事項 | 市 | 県 | 全国 |
|--|------|------|------|
| ① 国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 | 88.4 | 84.3 | 82 |
| ② 数学の問題の解き方が分からないときには、あきらめずいろいろな方法を考えている。 | 81.3 | 78.5 | 78.1 |
| ③ 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。 | 75.5 | 70.3 | 64.8 |

(2) 児童・生徒自身に関わること

| 質問事項 | 市 | 県 | 全国 |
|---|------|------|------|
| ① 地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う。 | 86.7 | 85.4 | 83.5 |
| ② 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 | 70.9 | 66.7 | 67.1 |
| ③ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。 | 79 | 73.6 | 71.1 |

| 質問事項 | 市 | 県 | 全国 |
|---|------|------|------|
| ① 地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う。 | 84.7 | 80.8 | 76.1 |
| ② 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。 | 74.5 | 65.7 | 67.5 |
| ③ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。 | 77.9 | 73.5 | 72.2 |

結果を受けた今後の取り組み

- 東根市がめざす子ども像「夢を持って前向きに学ぶ子ども」に育っていると捉えています。粘り強く課題に取り組む子どもたちに、教師が適切な支援、指導を行い、問題解決の楽しさをこれからも実感できるようにしていきます。
- 「子ども一人ひとりが主語」となる授業づくりに本気で向き合っていきます。
 - ・昨年度に引き続き、「学び方」を児童生徒が自ら決める「学びの複線型授業」を推進します。その際、タブレット端末を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びが展開される授業を実施します。
- 社会に開かれた教育課程の実現や、地域とよりつながりのある教育活動を推進していきます。
 - ・子どもたちの「地域や社会をよりよくするために何かしてみたい」という思いを大切にしながら、子どもの「問い」を大切にし、具体的な行動につなげられるような学習活動（総合的な学習の時間等）を展開していきます。